



2019年7月19日

各 位

会 社 名 株式会社タカネットサービス  
(コード番号 7672 TOKYO PRO Market)  
代 表 者 名 代表取締役社長 西口 高生  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 片岡 裕子  
T E L 045-222-4488  
U R L <https://www.takanet-s.com/>

## 2019年5月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2019年2月21日に公表いたしました2019年5月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年5月期通期連結業績予想と実績値の差異

(2018年6月1日～2019年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,709	百万円 204	百万円 28	百万円 27	円 銭 247.18
今回実績(B)	10,227	△112	△244	△269	△2,451.33
増減額(B-A)	△1,482	△316	△272	△296	
増減率(%)	△12.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2018年5月期)	13,689	448	325	194	1,944.55

#### 2. 差異が生じた理由

2019年5月期の業績予想につきましては、前回予想(上記「前回発表予想(A)」)に対して、売上高が1,482百万円、営業利益が316百万円、経常利益が272百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が296百万円、それぞれ減少する見込みとなりました。

前連結会計年度は2017年秋のモデルチェンジ・マイナーチェンジ後に転貸戻り車両(旧モデル)の需要が増加したことに伴って売上・利益が増加しましたが、当連結会計年度はそ

の反動減等により売上・利益ともに減少することは業績予想に織り込んでおりました。また、モデルチェンジ等から1年を経過する当連結会計年度下半期に入って新車・中古車ともに流通市場が活発化し、売上・利益が回復基調となると見込んでおりました。

しかしながら、トラック各メーカーの新型車モデルチェンジに伴って納期が大幅に遅れたことにより、当社の主要事業である短期リース事業用の供給車両の納入が大幅に遅れました。その結果、短期リース事業におけるリースアップ車を計画通りに確保できず、売上・利益が当初予想を下回ることとなりました。

なお、当連結会計年度の下半期以降は中古車市場が活況になりつつあり、新車の納期状況も改善されてきており、同第4四半期以降は収益性が改善されてきております。

以上